

# 東京スワップレート



### 業界の課題

スワップレートのベンチマークはスワップの価値を評価するためのもので、スワップションやCMSなどのデリバティブのバリュエーションや、仕組みローン、仕組み債、変動利付債、PFIなどに用いられます。日本円LIBORは、金利スワップのリファレンス・レートとして広く利用されていました。

2021年3月5日付の金融行動監視機構(FCA)の発表を受け、日本円LIBORは公表停止となりました。LIBORからの移行に伴い市場慣行が変化しており、TONA(日本円の無担保コール・オーバーナイト物金利)のようなリスク・フリー・レートが広く利用されるようになりました。

### LSEGの提供内容

東京スワップレート(TSR)は、東京スワップレート(TONA参照)と東京スワップレート・フォールバックで構成される日本円金利スワップのベンチマークです。

東京スワップレート(TONA参照)は、ディーラー対顧客取引に利用される Tradeweb®プラットフォームからのスポット・スタートのTONAを参照するOISの執行可能な気配値に基づいています。入力データは、午前10:00(東京時間)を中心とした20分間と午後14:40~15:00(東京時間)に収集されます。収集時間内の30秒毎に、個々のディーラーの入力データがサンプル抽出され、ボリュームが十分にあり、ビッド・オファー・スプレッドが一定の基準以内であれば、各ディーラーのミッド・レートが算出されます。公表レートは、ミッド・レートの中央値となります。流動性が低い場合、FTSE Russellは、(i) インターディーラー・ブローカー 2 社 (TP ICAPおよびTradition)、(ii) Tradeweb(総合的な気配レート)、(iii) 同じ時間帯に Tradeweb から収集されたディーラー対顧客取引の執行可能な気配値のうち使用されなかったものから得られた、スポット・スタートのTONA参照OISレートを使用しています。

公表前に入力データの品質チェックを行い、中央値を採用することで、エラーや不正操作のリスクを抑えます。公表レートは、1年から40年までのテナーで、それぞれ10:30(東京時間)と15:30(東京時間)に公表されます。

東京スワップレート・フォールバックも、1年から40年までのテナーで利用可能です。東京スワップレート・フォールバックは東京スワップレート(ロンドン銀行間取引で用いられる日本円スワップ(6か月)オファー・レート参照)を使って交わされた契約を2021年12月以降も継続して利用できるように設計されています。

これは、東京スワップレート(TONA参照)と、市中協議からのフィードバックに沿った一定のスプレッド調整から導き出され、ワーキング・グループによって提案されたメソッドロジーと一致しています。

東京スワップレート(TONA参照)と東京スワップレート・フォールバックは、FTSE International LimitedがUKベンチマーク規定に準拠して管理しており、金融契約での利用が可能です。



## レートへのアクセス方法

東京スワップレートは、LSEG Eikon、LSEG Real-Time、LSEG Datascopeなど、さまざまなLSEG製品を通じて利用可能です。

	東京スワップ レート(TONA 参照)AM	東京スワップ レート(TONA 参照)PM	東京スワップ レート・フォール バックAM	東京スワップ レート・フォール バックPM
すべてのテナー AMおよびPM	JPTSRT0=RFTB		JPTSRLF=RFTB	
すべてのテナー	JPTSRT0A=RFTB	JPTSRT0P=RFTB	JPTSRLF0A=RFTB	JPTSRLF0P=RFTB
1年	JPTSRT0A1Y=RFTB	JPTSRT0P1Y=RFTB	JPTSRLF0A1Y=RFTB	JPTSRLF0P1Y=RFTB
18か月	JPTSRT0A18M=RFTB	JPTSRT0P18M=RFTB	JPTSRLF0A18M=RFTB	JPTSRLF0P18M=RFTB
2年	JPTSRT0A2Y=RFTB	JPTSRT0P2Y=RFTB	JPTSRLF0A2Y=RFTB	JPTSRLF0P2Y=RFTB
3年	JPTSRT0A3Y=RFTB	JPTSRT0P3Y=RFTB	JPTSRLF0A3Y=RFTB	JPTSRLF0P3Y=RFTB
4年	JPTSRT0A4Y=RFTB	JPTSRT0P4Y=RFTB	JPTSRLF0A4Y=RFTB	JPTSRLF0P4Y=RFTB
5年	JPTSRT0A5Y=RFTB	JPTSRT0P5Y=RFTB	JPTSRLF0A5Y=RFTB	JPTSRLF0P5Y=RFTB
6年	JPTSRT0A6Y=RFTB	JPTSRT0P6Y=RFTB	JPTSRLF0A6Y=RFTB	JPTSRLF0P6Y=RFTB
7年	JPTSRT0A7Y=RFTB	JPTSRT0P7Y=RFTB	JPTSRLF0A7Y=RFTB	JPTSRLF0P7Y=RFTB
8年	JPTSRT0A8Y=RFTB	JPTSRT0P8Y=RFTB	JPTSRLF0A8Y=RFTB	JPTSRLF0P8Y=RFTB
9年	JPTSRT0A9Y=RFTB	JPTSRT0P9Y=RFTB	JPTSRLF0A9Y=RFTB	JPTSRLF0P9Y=RFTB
10年	JPTSRT0A10Y=RFTB	JPTSRT0P10Y=RFTB	JPTSRLF0A10Y=RFTB	JPTSRLF0P10Y=RFTB
12年	JPTSRT0A12Y=RFTB	JPTSRT0P12Y=RFTB	JPTSRLF0A12Y=RFTB	JPTSRLF0P12Y=RFTB
15年	JPTSRT0A15Y=RFTB	JPTSRT0P15Y=RFTB	JPTSRLF0A15Y=RFTB	JPTSRLF0P15Y=RFTB
20年	JPTSRT0A20Y=RFTB	JPTSRT0P20Y=RFTB	JPTSRLF0A20Y=RFTB	JPTSRLF0P20Y=RFTB
25年	JPTSRT0A25Y=RFTB	JPTSRT0P25Y=RFTB	JPTSRLF0A25Y=RFTB	JPTSRLF0P25Y=RFTB
30年	JPTSRT0A30Y=RFTB	JPTSRT0P30Y=RFTB	JPTSRLF0A30Y=RFTB	JPTSRLF0P30Y=RFTB
40年	JPTSRT0A40Y=RFTB	JPTSRT0P40Y=RFTB	JPTSRLF0A40Y=RFTB	JPTSRLF0P40Y=RFTB

## FTSE Russellについて

FTSE Russellは、世界有数のインデックス・プロバイダーとして、アセット・クラスや投資目的に応じたさまざまなインデックスおよびベンチマーク・ソリューションを提供しています。また、投資家の皆様にとっての信頼いただけるパートナーとして、十分な情報に基づいた投資判断や、リスク管理、投資機会の獲得をサポートしています。

資産クラス全般にわたるグローバル・インデックス・ソリューションの開発・管理におけるFTSE Russellの専門知識は、市場参加者から高い評価を受けています。多くのアセット・オーナーやアセット・マネージャー、ETF プロバイダー、投資銀行がFTSE Russellのインデックスを運用成績のベンチマークとして採用しているほか、投資ファンドやETF、仕組み商品、デリバティブ商品を組成する原指数としても利用されています。当社のソリューションは、アセット・アロケーション、投資戦略分析、リスク管理にも活用され、堅実なガバナンス・プロセスと運用面の完全性についても、お客様から高い評価をいただいています。

35年以上にわたり、FTSE Russellは常に変革の最前線に立ち、革新的な次世代ベンチマークと投資ソリューションを開発し、世界の投資コミュニティに新たな機会を創出してきました。

## お問い合わせ

詳細については、[lseg.com/ftse-russell](https://lseg.com/ftse-russell)をご覧ください。または、[benchmarks@lseg.com](mailto:benchmarks@lseg.com)にメールを送信いただくか、クライアント・サービス・チーム([info@ftserussell.com](mailto:info@ftserussell.com))もしくは以下の地域オフィスにお問い合わせください。

欧州、中東、アフリカ +44 (0) 20 7866 1810

アジア太平洋

北米 +1 877 503 6437

香港 +852 2164 3333

東京 +81 (3) 6441 1430

シドニー +61 (0)2 7228 5659

## 免責条項

© [2024] LSEG. All rights reserved

LSEGとの間で東京スワップレート・フォールバックおよび東京スワップレート(TONA参照)(以下「TSR」)の使用に関するライセンス契約に署名されていない場合は、金融商品および金融契約のリファレンス・レートとして、バリュエーションおよびプライシング目的、もしくはベンチマークやインデックスへの入力などの用途を問わず、商用利用を含むいかなる目的でもTSRを使用することはできなくなります。

London Stock Exchange Group plc、その関連会社(以下「LSEG」)、およびそのサードパーティ(総称して「LSEGおよびサードパーティ」)は、TSRまたはそれに含まれるいかなるデータの品質、正確性、または完全性を保証しません。LSEGおよびサードパーティは、TSRの正確性もしくは完全性に関して、またはお客様もしくはその他の者もしくは組織がTSRもしくはそれに含まれる何らかのデータを利用したことと取得した結果について、明示または黙示を問わず、いかなる保証または表明も行いません。いかなる場合においても、LSEGおよびサードパーティは、TSRの利用に関連する利益の損失、特別損害、懲罰的損害、間接的損害、偶発的損害、結果的損害に対し、一切の責任を負わないものとします。

Bloomberg ISDAスプレッド調整は、TSRへの入力値として使用されます。BLOOMBERGはBloomberg Finance L.P.(「BFLP」)の商標およびサービスマークです。ISDAは国際スワップ・デリバティブ協会(「ISDA」)の商標およびサービスマークです。Bloomberg Index Services Limited(「BISL」、BFLPおよびそれらの関連会社と総称して「Bloomberg」)は、BISLとISDAの間の取決めに基づき、「オールイン('all in')」Fallbackレートおよびそれらコンポーネント、調整済み「リスクフリー」リファレンス・レート、ならびにスプレッド調整で構成される「Fallback」データ(関連するまたは含まれるその他データもしくは情報と総称して「フォールバック・データ」)を管理、算出しています。BloombergまたはISDAのいずれも、フォールバック・データに関して、適時性、正確性、完全性、または特定の目的への適合性を保証するものではなく、フォールバック・データに関連して一切の責任を負わないものとします。上記を制限することなく、BloombergまたはISDAのいずれも、フォールバック・データが、標準的なISDA文書および関連プロトコル外で取引されたデリバティブを含む、デリバティブまたは非デリバティブ金融商品に適切かどうかについて一切の表明を行いません。市場参加者は、フォールバック・データの詳細を検討および分析し、そうした利用に適切かどうかを独自に判断してください。

TIBOR®は、日本全国銀行協会の登録商標(登録番号 4115624)です。



**FTSE  
RUSSELL**  
An LSEG Business